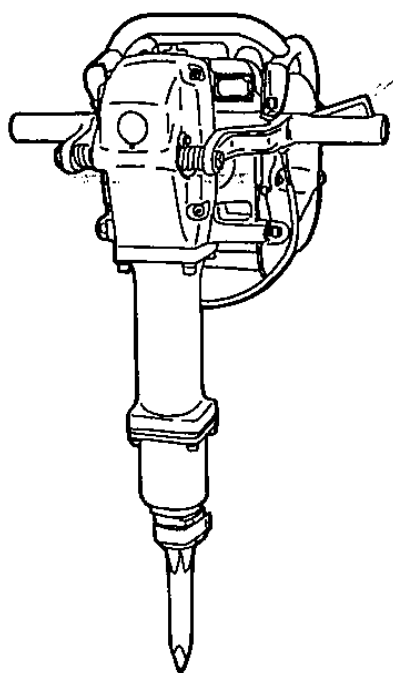


コンクリートブレーカ

ゼンア ビーガン

CB4410

取扱説明書



⚠ 注意

- 製品をお使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- 取扱説明書はいつでも読めるよう大切に保管してください。

操作装置のシンボルマーク

運転操作および保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。
これらの表示に従って誤操作のないようご注意ください。

マーク表示部位	図 柄	意 味
燃料タンクキャップ		使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを表わします。

はじめに

このたびはお買い上げいただきありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただき十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。

また、お読みになった後必ず大切に保存し、分からないことがあった時には取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

安全 第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた  の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■ 注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

 **危険** : 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** : 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** : 注意事項を守らないと、けがを負う恐れがあるものを示します。

重要 : 注意事項を守らないと機械の損傷や故障の恐れがあるものを示します。

補足 : その他、使用上役立つ補足説明を示します。

目 次

▲ 正しくお使いいただくために.....	1
警告ラベルとその取扱い	4
サービスと保証について	5
製品主要諸元	6
各部の名称	7
チゼルの取付け	8
燃料	9
ビーガンオイル	10
給油	11
エンジンのかけかた	12
エンジンのとめかた	14
アタッチメントチゼル	15
運転	17
点検整備	
エアクリーナ	18
スパークプラグ	19
燃料フィルタ	20
エンジンの調整	21
長期保管時の手入れ	22
故障のときは	23



正しくお使いいただくために

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で正しく取扱ってください。快適に作業をするため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

■ 製品をお使いになる前に

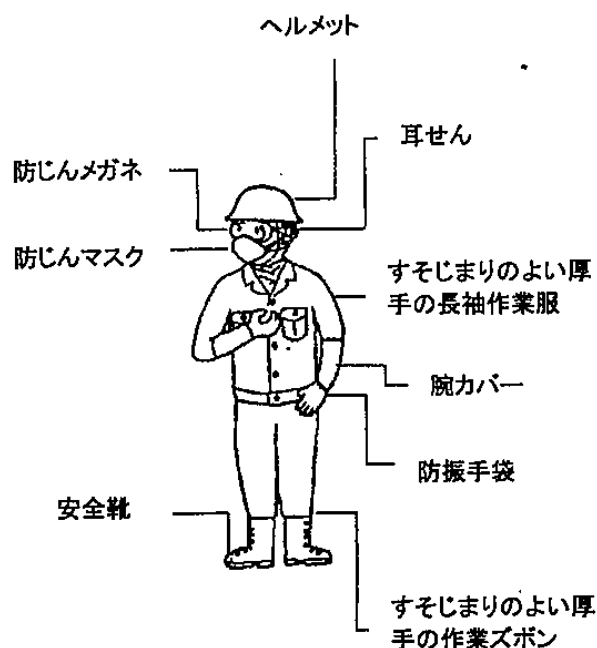
- ご使用前にこの取扱説明書と別冊のパンフレットをお読みになり、製品の機能と取扱い上の注意事項をよくご理解ください。
- 本製品はコンクリートやアスファルトの破碎作業、土固め作業、杭打ち作業などを用途として設計されています。不測の事故を招く恐れがありますので、必ず用途に合ったアタッチメントを使用して下さい。
- 本製品は操作を誤ると非常に危険です。疲労などで体調が悪い時や、カゼ薬服用時、飲酒後など、正常な判断と的確な操作ができない恐れがある場合は本製品を使用しないでください。また、この取扱説明書の内容が理解できない人や子供には絶対に使用させないでください。
- エンジンの排気ガス中には人体に有害な一酸化炭素が含まれています。屋内やトンネル、穴溝など換気の悪い場所では本製品を使用しないでください。
- 初めてお使いになる場合は、実作業にはいる前に熟練者から製品の取扱い指導を受けてください。
- 次のような場合はお使いにならないでください。
 - ① 足元が滑りやすいなど、安定した操作姿勢の保持が困難な場合
 - ② 霧や夜間など、作業現場周辺の安全確認が困難な場合
 - ③ 悪天候時(降雨、降雪、強風、雷など)
 - ④ 落石や雪崩の恐れがある場所
- 粉塵から目を保護するため、防塵メガネを必ず着用してください。
- 粉塵吸入による呼吸器障害予防のため、防じんマスクを必ず着用してください。
- 作業時の騒音による聴力障害予防のため、耳栓を必ず着用してください。
- 疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。作業計画にはゆとりを持たせ、1回の連続作業時間は10分以内、1日の作業時間は2時間以内としてください。
- この取扱説明書は必ず保管して、分らないことがあった場合など必要に応じてご参照ください。
- 本製品を譲渡または貸与する際は、この取扱説明書を必ず添付してください。





正しくお使いいただくために

■ 使用時の服装・装備



- 本製品をお使いになる際は、長袖長ズボンの作業服と、次の用品を着用してください。

- ① ヘルメット(保安規格適合品)
- ② 防じんメガネ
- ③ 防じんマスク
- ④ 防振手袋
- ⑤ 安全靴
- ⑥ 耳栓またはイヤプロテクタ

また、次の用品を携行してください。

- ① 製品付属工具
- ② 適切な容器に入れた燃料

- 裾じまりの悪い衣服やネクタイ、ペンダントなど、機械に巻き込まれる恐れのあるものは身につけないでください。また、裸足、サンダル、草履などでの作業はしないでください。

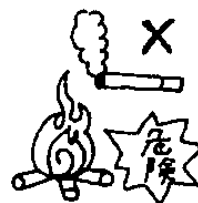
■ 燃料に関する注意事項

- 本製品のエンジンは、引火しやすいガソリンを含む「混合ガソリン」を燃料としています。



焼却炉、バーナー、たき火、かまど、電気スパーク、溶接火花など、引火の恐れがある場所では、燃料の補給をしたり燃料容器を保管したりしないでください。

- くわえタバコでの作業や燃料補給は危険です。絶対にしないでください。



- 使用中に給油する場合は、必ずエンジンを停止し、周囲に火気がないことを確かめてから燃料を補給してください。

- 給油後は、燃料タンクキャップを確実に締め込み、燃料漏れなどがないことを確認してください。

- 給油後は、燃料容器を密閉してから、3m以上離れた場所でエンジンを始動してください。

- 給油時に燃料がこぼれた場合は、エンジンをかける前に、機体に付着した燃料を完全にふき取ってください。



正しくお使いいただくために

■ 使用前の注意事項

- 作業を始める前に現場の状況(地形、破碎対象物の厚さ、安定度、障害物との距離、周囲の危険度など)をよく確かめ、移動可能な障害物は除去してください。また、数人で共同作業を行う場合は、作業前に各人の役割分担や注意事項、合図方法などを確認し合ってください。
- 破碎作業中は粉塵や火花が飛散しますので、作業場所に他の人や車が立ち入らないよう十分な間隔を確保するか、周囲に適切なしゃへい板を設けてください。
- 作業を開始する前に機体各部を点検し、異常がないことを確かめてください。特に、次のような異常は放置すると危険ですので、使用を中止し速やかに整備してください。

① ネジ類のゆるみ

② 燃料漏れ

③ 作動不良

- 点検を行うときは、必ずエンジンを停止してください。

■ エンジン始動時の注意事項

- エンジンの始動操作は単独で、周囲に人や障害物がないことを確かめてから行ってください。

■ 作業時の注意事項

- エンジン運転中はスパークプラグやコードに触れないでください。電気ショックを受ける恐れがあります。



- エンジン運転中および停止直後は素手でマフラなどの金属部に触れないでください。高温によるヤケドの恐れがあります。



- ハンドルを軽く握り、軽く押えるようにして作業してください。ハンドル以外のところを持って作業したり、ハンドルを強く押しすぎて作業することはさけてください。
- 作業中異常を感じたら、ただちにエンジンを停止し機体の点検をしてください。

■ 整備上の注意事項

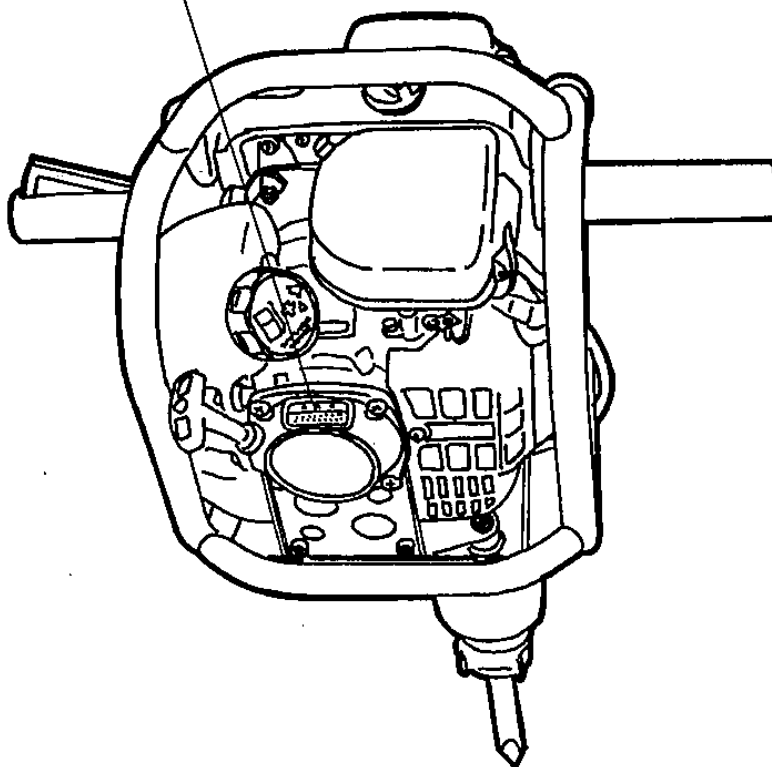
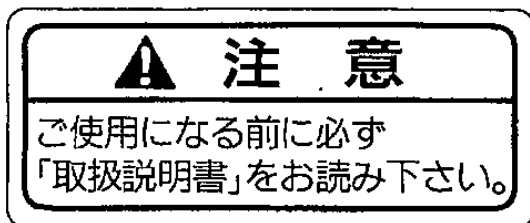
- この取扱説明書では、機能維持に必要な日常定期整備項目に限って説明しています。整備方法を誤ると製品の信頼性が低下する恐れがありますので、本書で説明していない整備や分解修理が必要な場合は、お買い上げ店または最寄りのゼノア製品取扱店にご相談ください。
- 点検整備作業時は、エンジンを停止し、正しい工具と丈夫な作業用手袋を着用してください。
- 製品本体やチゼルなどの改造等はいしないでください。使用中に破損したり、正常な操作が出来なくなる危険があります。
- 交換部品や補充用油脂類は、ゼノア純正品または指定品を使用してください。



正しくお使いいただくために

■ 警告ラベルとその取扱い

【品番】 Z5604-91190



【ラベルのメンテナンス】

- (1) 警告ラベルは、いつもきれいにし、傷つけないようにしてください。
- (2) 警告ラベルが汚損したりはがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。
- (3) 新しいラベルを貼る場合は汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

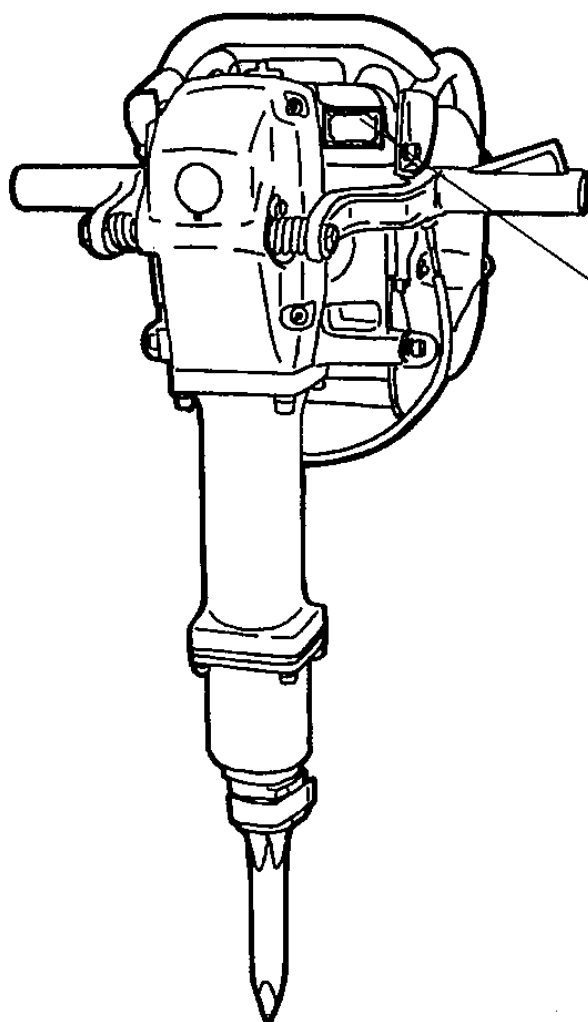
サービスと保証について

ご相談窓口

本製品に関するお問い合わせや消耗品のお求め、サービスのご用命は、お買い上げいただいた販売店で承ります。

お問い合わせの際は型式名と製造番号（下図参照）をご連絡ください。

製品およびサービスに関してお気づきの点やご意見等ありましたらお気軽にお近くの弊社営業窓口（裏表紙記載）にお寄せください。



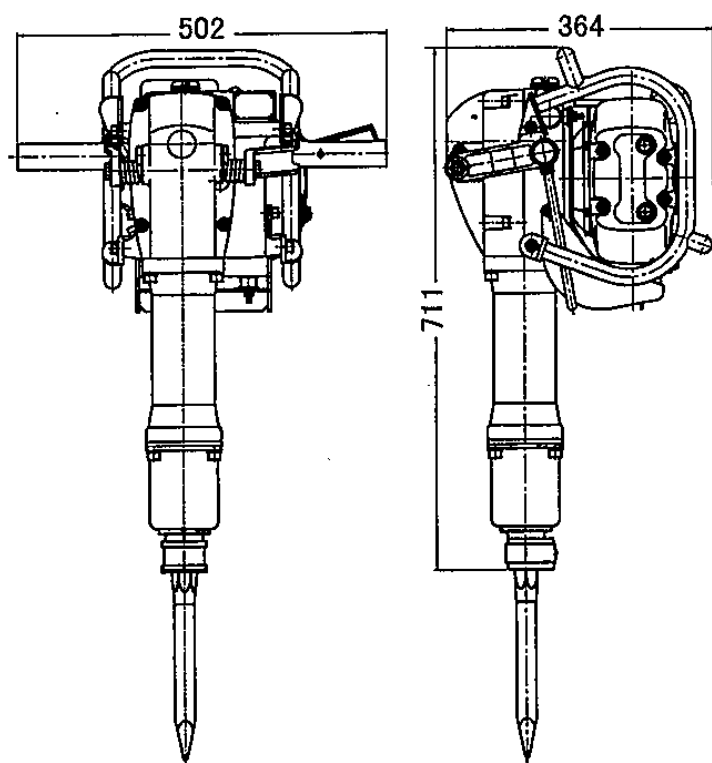
型 式 名
製 造 番 号
製 造 元



警 告

機械の改造は危険ですので、改造しないでください。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

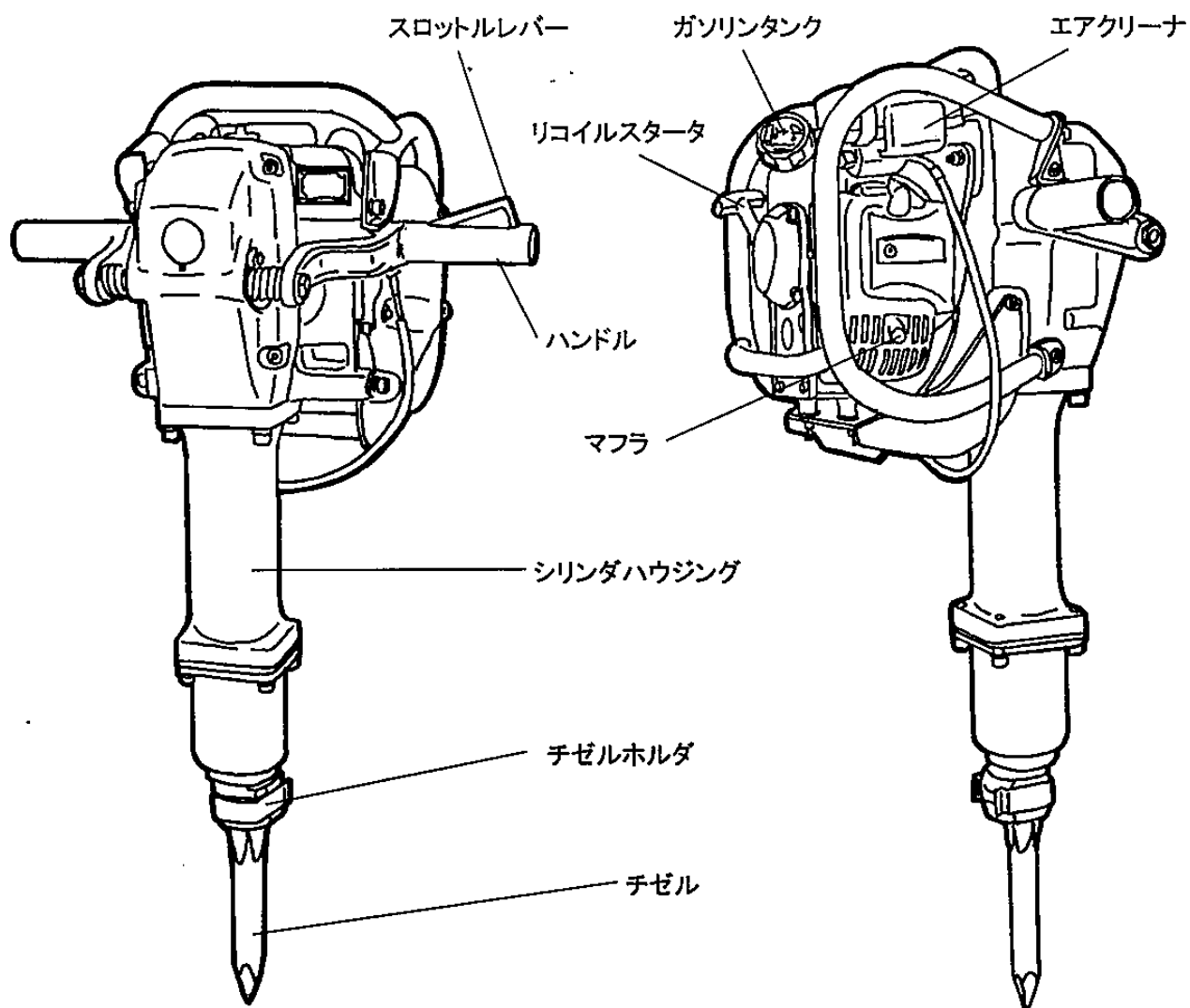
製品主要諸元



名 称	エンジン式コンクリートブレーカ	
型 式	CB4410	
機 械 質 量 kg	28	
全 長 mm	711	
全 幅 mm	502	
全 高 mm	364	
打 撃 数 bpm	1000	
オ イ ル	ビーガン専用オイル	
オイルタンク容量 L	0.18	
動力伝達方式	自動遠心クラッチ	
エンジン	形 式	単気筒空冷2サイクルガソリンエンジン
	排 気 量 cm ³	41.5
	使 用 燃 料	潤滑油混合ガソリン 〔 混合比 ゼノア純正2サイクル(FD級)オイル 50:1 市販オイル 25:1 〕
	使用潤滑油	2サイクルエンジン専用オイル
	キャブレタ	ダイヤフラム、バタフライバルブ式(始動ポンプ付)
	点 火 方 式	無接点フライホイールマグネット式
	スパークプラグ	チャンピオン CJ-6Y
	始 動 方 式	リコイルスタータ式
	停 止 方 式	点火回路一次側短絡式(押しボタン)
	燃料タンク容量 L	0.94
ン	動力伝達方式	自動遠心クラッチ方式

※ 改良などにより商品の細部仕様が本書記載内容と異なることがあります。予めご了承ください。

各部の名称



チゼルの取り付け

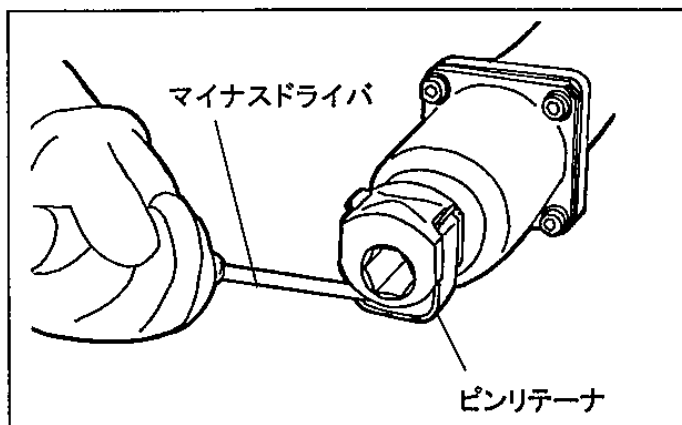


注意

取付け時はチゼルを正しく取付けてください。取付けを誤ると事故を招く恐れがあります。

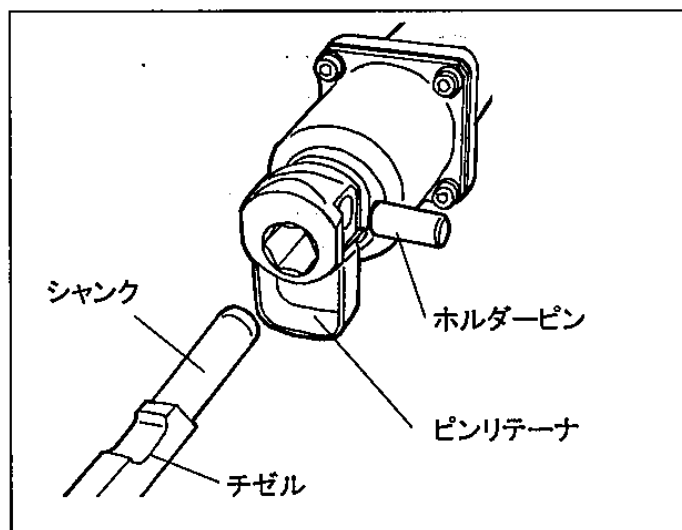
重要

チゼルのシャンクに土や砂がついたまま取付けると内部の打撃機構が異常摩耗し、故障の原因や寿命の低下につながります。



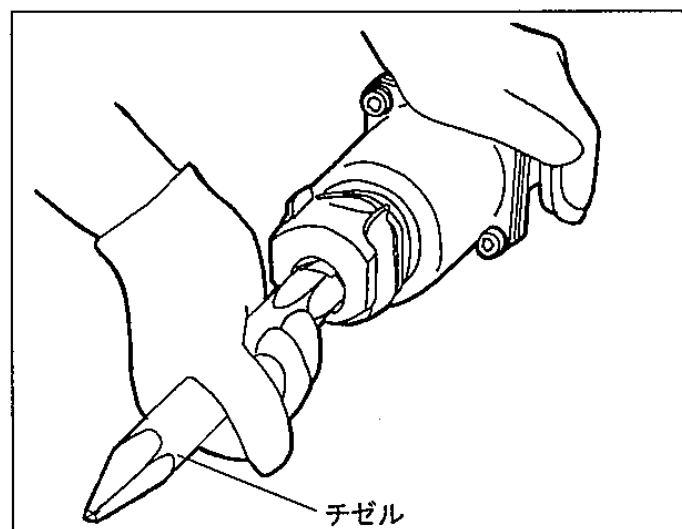
1. ピンリテーナをマイナスイヤバなどでずらしてホルダーピンを抜いてチゼルを外してください。

2. チゼルを本体に取付けるときはチゼルのシャンクを布できれいにふいて土や砂などを取り除いてください。



3. チゼル挿入後、ホルダーピンを挿入しピンリテーナを押してもとにもどしてください。

4. 装着後、チゼルを引っぱり抜けないことを確認してください。



燃 料



危 険

- 燃料は非常に引火しやすいため取扱いを誤ると火災事故の原因となります。また、気化した燃料は爆発して死傷事故を起こす恐れがあります。
- 燃料の混合時は必ず火気を遠ざけ、タバコは吸わないでください。
- 混合作業は屋外で行ってください。
- 本機や燃料容器を、たき火やバーナーなどの火気の近くに放置しないでください。

重 要

- オイルが混合されていないガソリン(生ガソリン)を使うとエンジンが焼き付きます。給油時は燃料が正しいか確かめてください。
- 燃料は紫外線や高温に長時間さらされると変質劣化し、始動不良や出力不足などの原因になります。混合した燃料は、30日以内を目安に使い切るようにしてください。また、余った燃料は密閉容器に入れ、冷暗所に保管してください。
- 水が混入した燃料を使うと、キャブレタやエンジンの内部が腐食します。機体や燃料容器に水がかからないようにしてください。
- 4サイクルエンジン用オイルや水冷2サイクルエンジン用オイルは使わないでください。スパークプラグ汚損やピストンリング固着、マフラ詰まりなどを起こしやすくなります。



燃料は、最寄りのガソリンスタンドで「空冷2サイクルエンジン用混合ガソリン」をお求めになるか、自動車用無鉛ガソリンと空冷2サイクルエンジン用オイルを下記割合で混合容器に入れ、容器を振ってよく混ぜ合わせたものを使用してください。

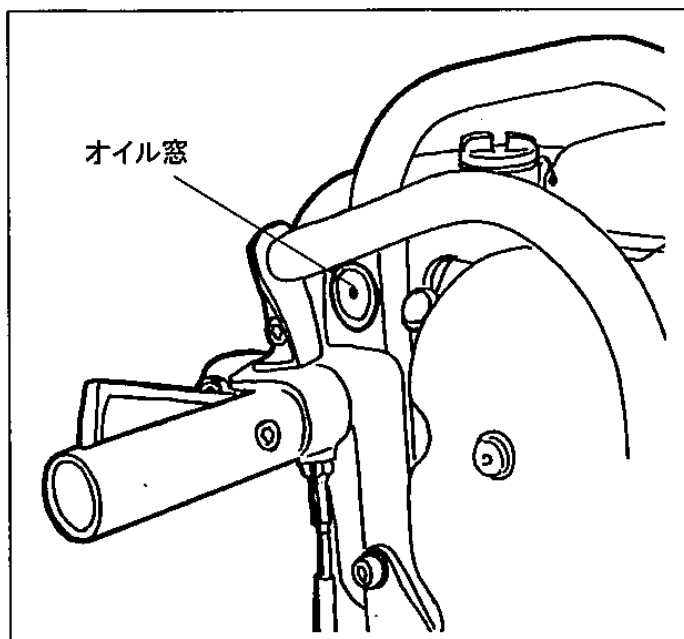
〔混合比〕

- ゼノア純正2サイクルオイル(FD 級)使用時
..... 50:1
(ガソリン1Lに対しオイル20mL)
- 市販2サイクルオイル(FB級)使用時
..... 25:1
(ガソリン1Lに対しオイル40mL)

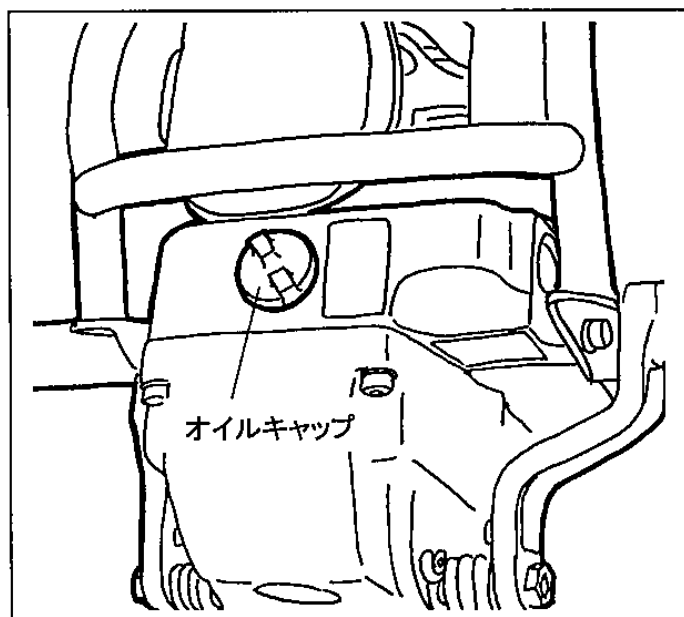
ビーガンオイル

重 要

- オイルは必ずビーガンオイルを使用してください。ビーガンオイルはビーガン専用開発された高性能オイルです。他のオイルを使用されますと焼き付きを起こすことがあります。
- オイルがないままでは絶対に作業しないでください。焼き付きを起こし機体内部の破損につながります。



オイル窓をのぞきオイルが入っているかどうか確認してください。オイル窓に油面が見え始めたときが半分の量です。補給するにはオイルキャップを外してください。



給 油

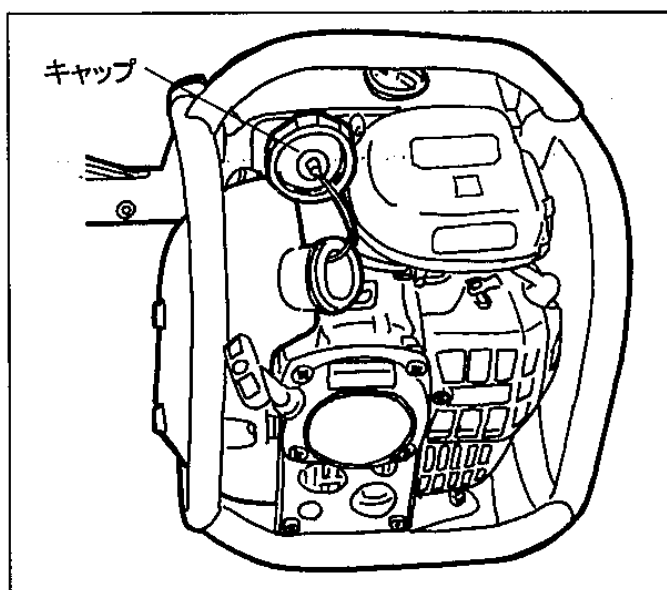


危 険

- 燃料タンクへの給油は屋外の平坦な場所で行ってください。
給油時は火気を遠ざけタバコは消してください。
- 作業の途中で給油する場合は、必ずエンジンを停止し、冷えてから行ってください。
- 燃料キャップは確実に締め付けてください。
- 給油時にこぼれた燃料はエンジンを始動する前に布でよくふき取ってください。

重 要

- 給油時は、燃料タンクとオイルタンクを取り間違えないでください。
- 給油終了後は、タンク内部に少し空間を残してください。入れ過ぎると、タンクの通気バルブから油がもれる恐れがあります。
- 燃料補給時には必ずビーガンオイルも確認してください。オイル切れのまま長時間運転すると機体内部の損耗が早まります。



1. 給油する機械を屋外の平坦な場所に置き、安定させてください。
2. 燃料タンクのキャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を取り除いてください。
3. 燃料タンクのキャップを取り外し、少しずつ給油してください。
4. 給油が終わったらタンクキャップを確実に締め付けて、燃料漏れのないことを確認してください。

— ゼノア純正 ビッグバンガソリン —

ゼノア純正混合ガソリン「ビッグバンガソリン」は、運転休止期間の長いエンジン機器用に開発された2サイクルエンジン専用の混合燃料です。

◎変質しにくい特殊ガソリンの採用でキャブ詰まり追放

◎エンジン内部を摩耗や汚れから守り、排気をきれいにする各種添加剤配合

◎混合の手間不要

◎給油・持ち運び・保管に便利な金属容器入り

などのすぐれた特長を持っており、運転休止の直前にお使いになるだけで運転再開時のエンジントラブル予防効果を発揮します。詳しくはお買い上げ店にお問い合わせ下さい。

エンジンのかけかた



危険

- 燃料を補給後エンジンを始動する場合は、機械を給油した場所から3m以上離れた場所に移してから始動してください。
給油した場所で始動すると引火による火災の恐れがあります。
- 室内や換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。
人体に有害な一酸化炭素中毒の恐れがあります。

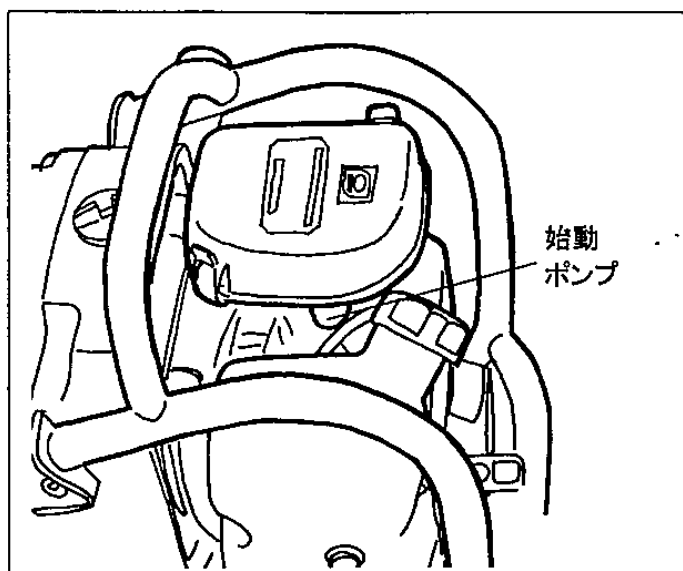


注意

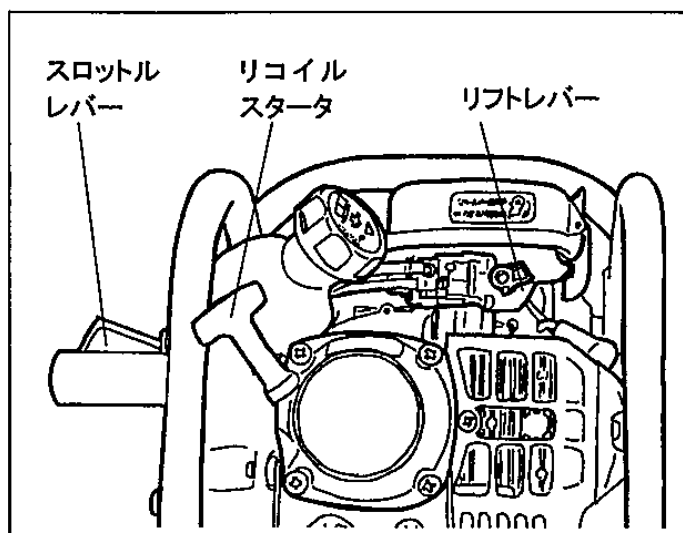
- 始動前に機体各部を点検し、ネジ部のゆるみや燃料漏れなどの異常がないことを確かめてください。
- 始動時は機体を地面に置いて確実に保持してください。
機体が倒れてケガをする危険性がありますので、立てた機体を片手で支えたまま始動しないでください。
- エンジン始動後、スロットルレバーを完全に戻したときに機体の打撃が停止することを確認してください。機体が打撃を続ける場合は使用を中止して、正常になるように調整または整備してください。
- 事故防止のため、使用中はスロットルレバーを固定しないでください。
- 常に本機の両手でハンドル部を握って操作してください。
- 火傷の恐れがありますので運転中および停止直後はエンジン本体やマフラの金属部に触れないでください。
- 感電によるショックを受けることがありますので運転中はスパークプラグやプラグコードに手を触れないでください。

重要

- リフトレバーはスロットルレバーがアイドル位置になっていないと始動位置にセットできません。
- 爆発音がしても始動しない場合は、スロットルレバーを全開の約 1/2 程度開いた位置にして(リフトレバーは「運転」位置)からスタータノブを繰り返して引いてください。
- スタータ故障の原因となりますので、ロープを一気に最後まで引き出したり、スタータノブから手を離して戻したりしないでください。
- 空打ち運転は機体内部に無理をかけ寿命の低下につながりますので、打撃時以外はスロットルレバーから指を離してください。特に、ならし運転期間中はエンジンに負担がかかりますので、不必要にエンジンの空吹きをしないでください。



1. 燃料をタンクに入れ、キャップを確実に締めてください。
2. 始動ポンプを指で数回押して、キャブレタに燃料をくみ上げてください。
3. スロットルレバーを完全に戻した状態(アイドル)にしてください。
4. キャブレタ横のリフトレバーを指でシリンダ側に倒して始動位置にセットしてください。



重要 リフトレバーはスロットルレバーがアイドル位置になっていないと始動位置にセットできません。

補足 エンジン停止直後に再始動する場合は、リフトレバーを運転位置にしたままエンジンをかけてください。

5. 機体を安定した場所に置き、左手でハンドルを持ちながら右手でスタータノブを引いてください。スタータノブは、初めは軽く引き出し、重くなったら力をこめて素早く引いてください。

重要 スタータ故障の原因となりますので、ロープを最後まで引き出したり、ノブから手を離して戻したりしないでください。

6. エンジンが始動したら、1～2 分間暖機運転してからスロットルレバーを軽く引いて、リフトレバーを運転位置に戻してください。

重要 暖機運転はスロットルレバーをアイドル位置にしたまま行ってください。エンジンが暖まらないうちにスロットルレバーを引くとリフトレバーが自動的に運転位置に戻るため、エンジンが止まってしまうことがあります。

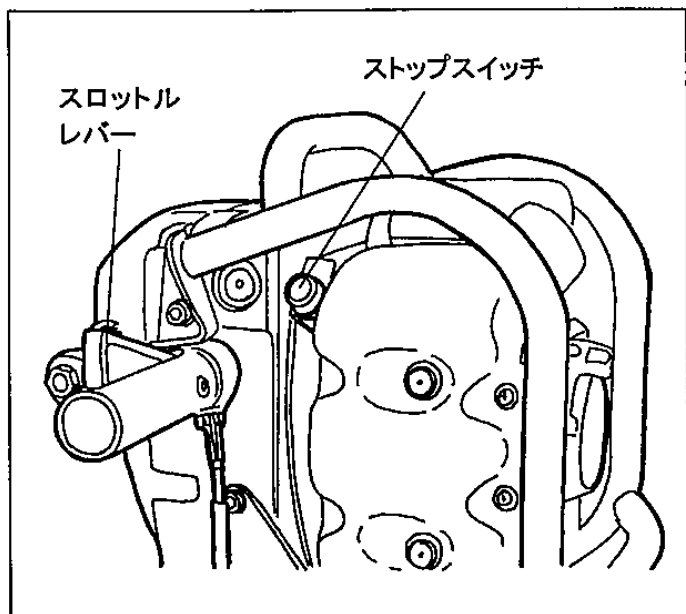
補足 爆発音がしても始動しない場合は、スロットルレバーを全開の約1/2程度開いた位置にして(リフトレバーは「運転」位置)からスタータノブを繰り返して引いてください。

エンジンのとめかた



注意

- 緊急時や機体に異常を感じたら、直ちにエンジンの停止操作をしてください。
- 感電ショックを受けないよう、エンジンが止まるまではプラグキャップやプラグコードにふれないでください。



1. スロットルレバーを完全に戻し、低速でしばらく運転してください。
2. ストップスイッチ（黒）をエンジンが完全に停止するまで押しつづけて下さい。

重要

スロットルレバーを引いたままスイッチを切るとエンジンに無理がかかりますので、緊急時以外はスロットルレバーを戻してから停止操作をしてください。

アタッチメントチゼル



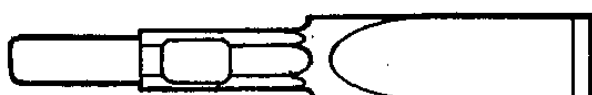
注意

- アタッチメント用チゼルは必ず用途に合ったものをお使いください。
- 本来の用途以外の目的に使用すると、思わぬ事故、ケガののもとになります。



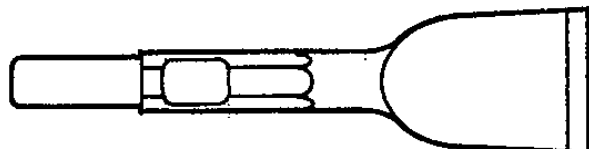
1. チゼル (φ 30)

コンクリート、アスファルトの破砕



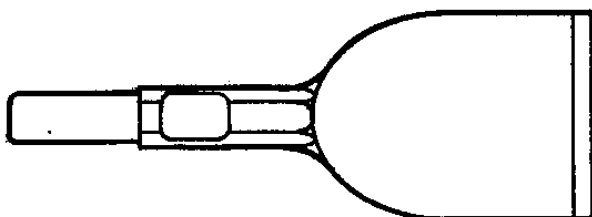
2. ウェッジ (幅 40 mm)

コンクリートの破砕



3. アスファルトカッタ (幅 75 mm)

アスファルトの破砕

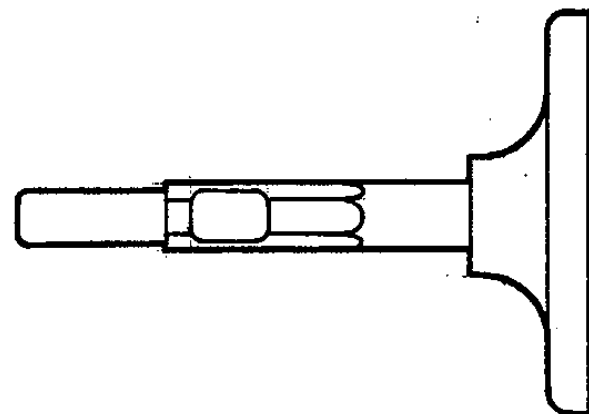


4. アスファルトカッタ 100 (幅 100 mm)

アスファルトの破砕

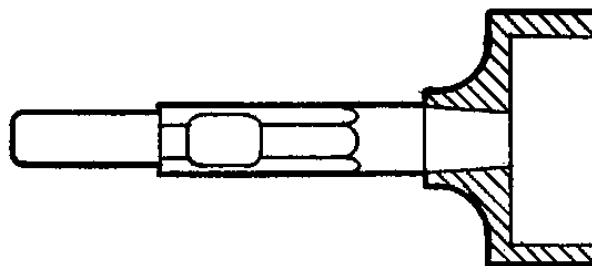
重要

コンクリートの破砕に使用すると、本機の著しい寿命の低下につながります。



5. アースタンパ (φ 200)

土固め用



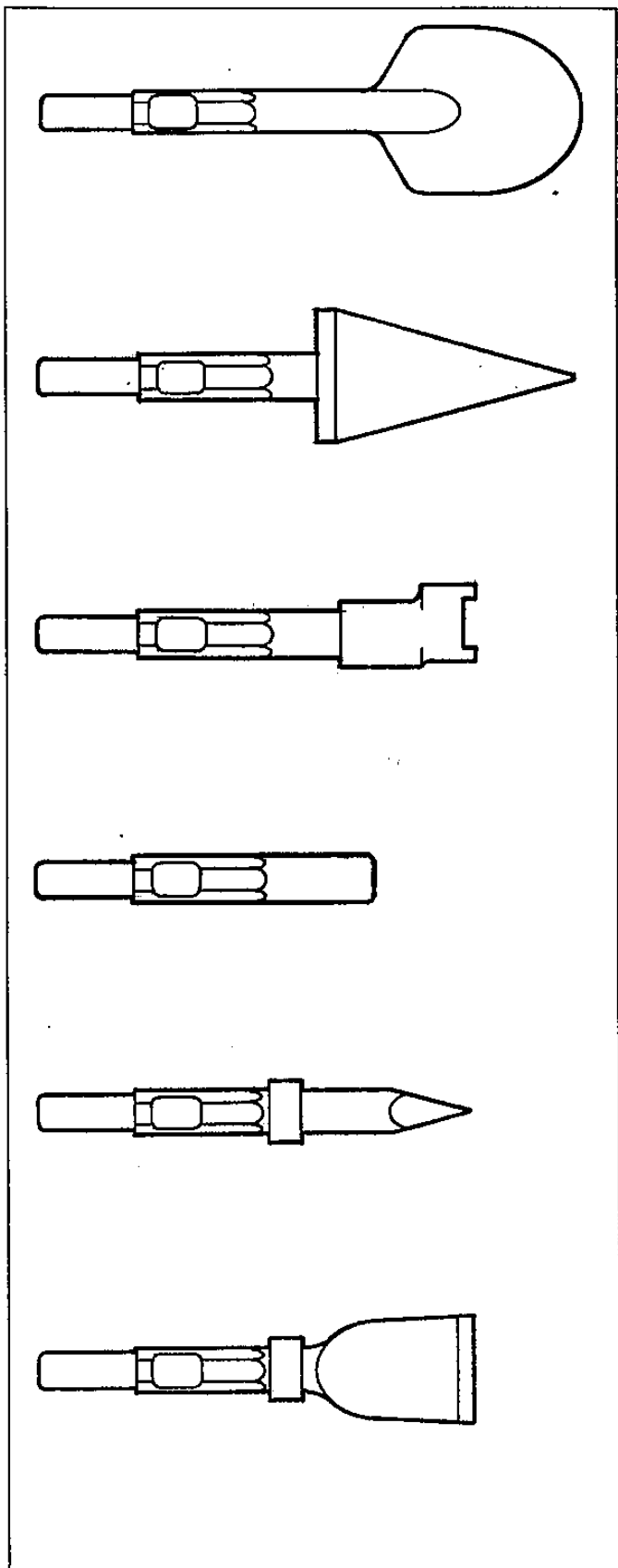
6. パイルドライバ (内径 120 mm)

杭打用



注意

- ひとりでの作業は危険です。必ず2人以上で作業してください。
- クレーンなどで吊り上げて作業することは、非常に危険ですのでやめて下さい。



7. スコップ (幅 120mm)

土砂の掘り起こし用

8. チゼル90 (φ90、深さ250)

杭打ちの下穴あけ用

9. スパイクドライバ

枕木に使用する犬釘打ち込み用

10. アンカーチゼル

電柱や果樹栽培支柱アンカー打込み用

11. 防音チゼル (φ30)

周囲にひびく音を押えた低騒音型チゼル

12. 防音アルファルトカッタ (幅75mm)

周囲にひびく音を押えた低騒音型アス
ファルトカッタ

運転

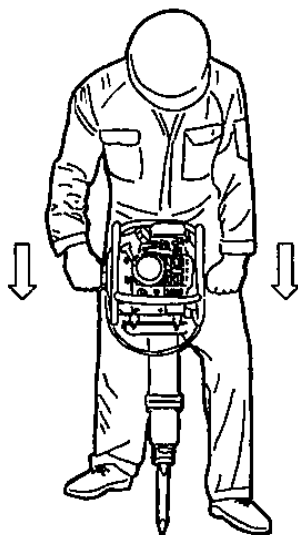


注意

- ハンドル以外のところを持ちたり、ハンドルを強く押しすぎて作業することはやめてください。振動や衝撃で身体に障害を起こすことがあります。
- ハンドルを押し付けずに手で機体を支えたまま作業すると空打ち状態となり、破砕位置が特定できず危険です。
- やけど防止のため、運転中や停止後しばらくはエンジン本体、マフラにふれないようにしてください。

重要

- 対象物からチゼルを抜くときなどに過度に空打ちすることはさけてください。
- チゼルホルダの底面を対象物に当てたまま打つことは絶対にさけてください。機体の寿命の低下につながります。
- 水たまりや、水中での作業は絶対に避けて下さい。機体内に水が入り、故障の原因になります。



1. スロットルレバーのついたハンドルを右手で握り、反対のハンドルを左手で握ってやや下に押しつけるように作業してください。上端から1～2cm程度押しと効果的です。

補足

押しつけることによりハンドル防振装置が働き振動が和らぎます。

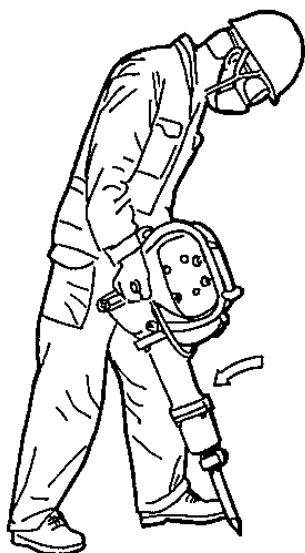
重要

ハンドルを押し付けずに手で機体を支えたまま作業すると空打ち状態となり、破砕位置が特定できず危険ですし、機体内部の寿命の低下につながります。

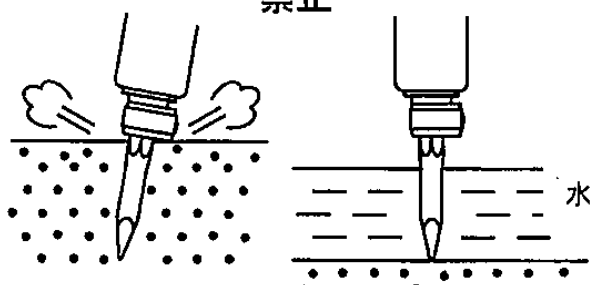
2. 機体を身体の方へすこしかたむけて作業すると操作性がよく疲れな作業ができます。

補足

打ちはじめ時に位置決めする時や、コンクリートブロックなど、小さいものを割る時はスロットルレバーを完全に押しきらないでエンジンを低回転にすると容易に作業できます。



禁止



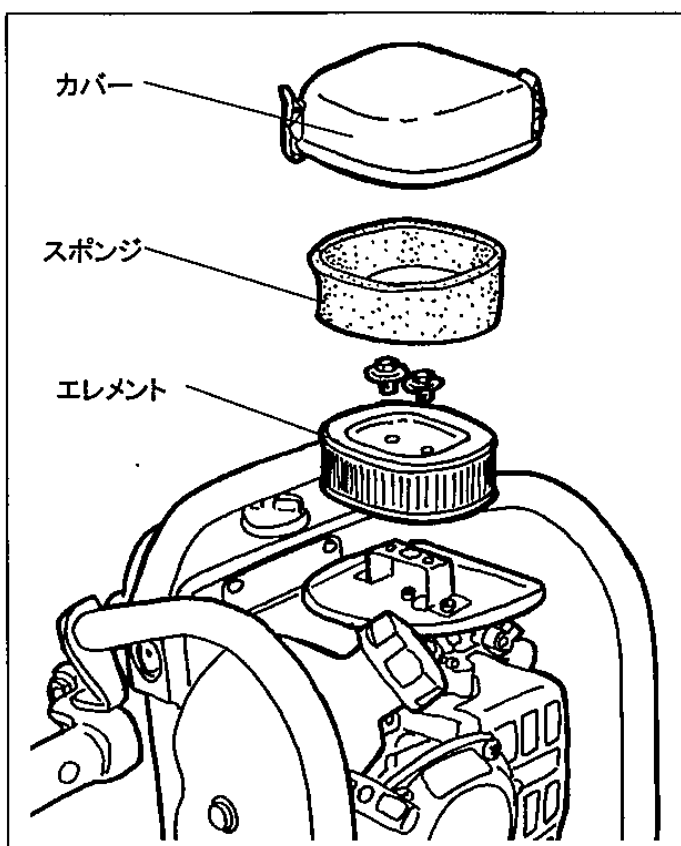
点 検 整 備



注 意

- 点検整備時は必ずエンジンを停止してください。
- 機体の改造やエンジンの分解はしないでください。
- 交換部品、油脂類はゼノア純正品または指定品を使用してください。

■ エアクリーナ



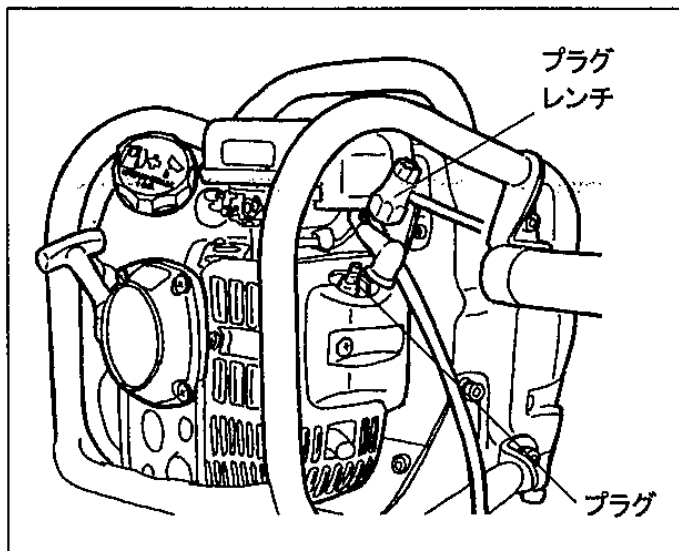
2 5時間ごとにエレメント、スポンジ、カバーを外しスポンジをガソリンで洗浄後よくしぼり、カバー内部のほこりを取り除いてください。また、エレメントには圧搾空気をふきつけてほこりをとりのぞいてください。エレメントの汚れがひどい時は交換してください。

補足 コンクリートの破碎作業を多くした時は、特に清掃が必要です。

重要 スポンジやエレメントが詰まるとエンジンの出力が低下します。またスポンジとエレメントはセットで機能しますので、片方だけの運転はしないでください。スポンジやエレメントを外して運転したり、変形・破損したエレメントを付けて運転を続けるとスパークプラグの汚損やエンジン内部の異常磨耗を招くことがあります。

■ スパークプラグ

危険	スパークプラグ点検整備後は、プラグキャップを奥まで確実にはめ込んでください。 接続が不完全の場合、外部へのスパークによる火災の恐れがあります。
注意	エンジン停止直後は素手でスパークプラグにさわらないでください。 高温のためやけどを負う恐れがあります。
重要	● スパークプラグの締め付けが強過ぎるとシリンダのネジ部が破損することがあります。プラグ締め付け時は必ず付属のプラグレンチを使用してください。 ● 燃料を吸い込み過ぎたり、オイルの質が悪かったりするとスパークプラグの電極が汚れ、エンジンがかかりにくくなることがあります。 ● プラグ交換時は指定品を使用してください。 指定外品を使用するとシリンダやピストンが破損することがあります。



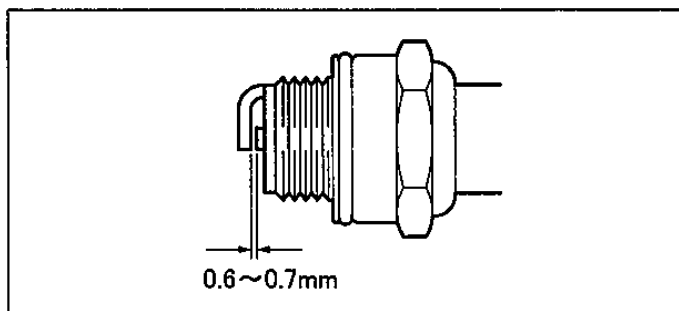
25時間使用毎を目安に、スパークプラグを取り外して電極を点検し、汚れている場合はワイヤブラシなどで取り除いてください。

指定 スパークプラグ	チャンピオン	CJ6Y
---------------	--------	------

- 電極間隙は0.6～0.7mmが適当です。
- プラグ取り付け時は、指でねじ込んでから、最後に付属のプラグレンチで締め付けます。

【締め付けトルク】

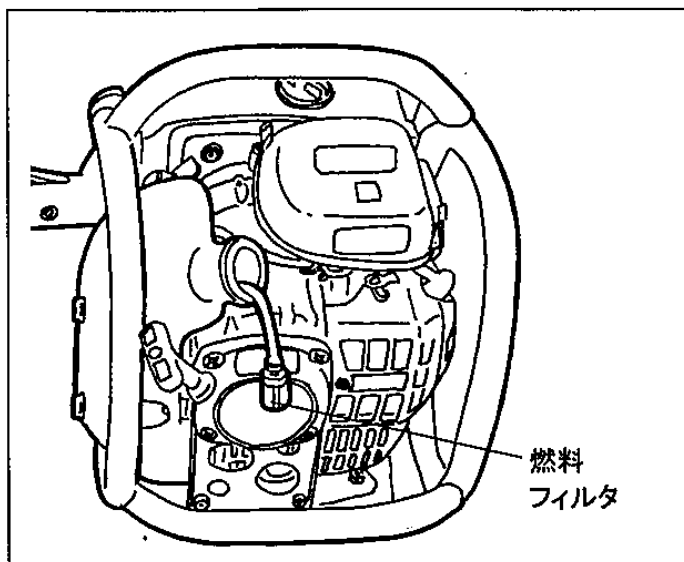
14.7～17.6N・m {150～180kgf-cm}



■ 燃料フィルタ

重 要

- 燃料フィルタが詰まったり燃料パイプが折れ曲がっていると、エンジン回転が上がらなかったり回転変動を起こしたりします。
- 燃料フィルタ取り出し時は燃料パイプを傷つけないよう注意してください。
- 燃料タンク内に水が入っていないことも確認してください。水が混入すると、エンジンの始動不良などを起こします。



25時間使用毎を目安に、燃料タンクから燃料フィルタを取り出し、付着したゴミを取り除いてください。
フィルタが目詰まりしている場合は新品と交換してください。

補足 燃料フィルタをタンクに戻す際は、燃料パイプが折れ曲がらないように注意してください。

■ エンジンの調整

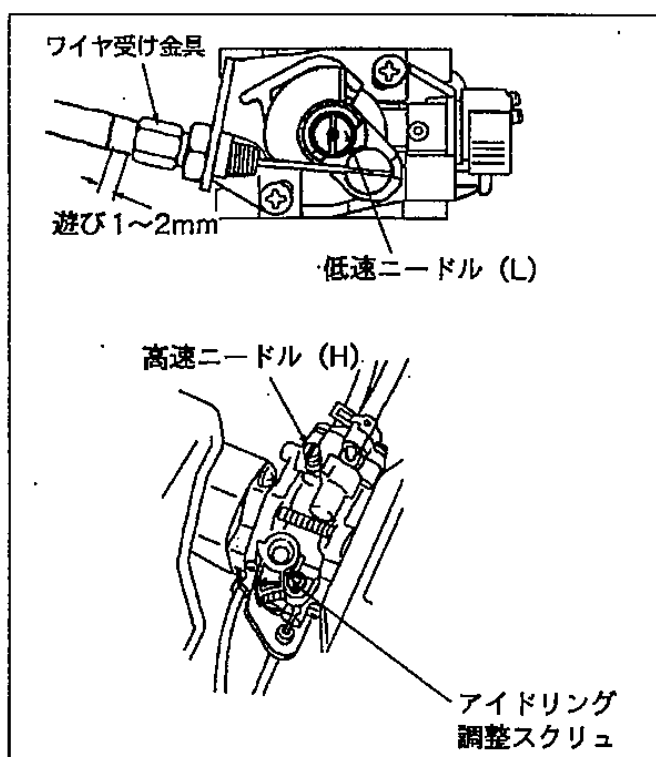


注意

スロットルレバーから指を離した後も打撃を続ける状態は故障のもとになります。下記要領でアイドル調整スクリュを再調整しても直らない場合は、スロットルレバーの作動不良やクラッチ故障などの可能性がありますので、お買い上げ店に点検修理を依頼してください。

重要

● エンジンの回転数は工場出荷時に調整されていますが、運転条件の変化(エンジンのなじみ具合、空気密度の変化等)により、再調整が必要となる場合があります。調整が必要な場合は、下記要領で行ないますが、不慣れな方はできるだけお買い上げ店に依頼してください。



ワイヤ受け金具調整

スロットルワイヤの遊びは、スロットルレバーを完全に戻した状態にしてワイヤ受金具に入っているスロットルワイヤ端部を指でつまんで軽く引いたときに、1~2mm動く程度であれば適性です。遊びが大きすぎたり小さすぎる場合はロックナットをゆるめてワイヤ受金具の位置を再調整してください。

アイドルリング調整スクリュ

スロットルレバーを離した状態にした時のエンジン回転数を調整するスクリュです。右(時計回り)に回すと回転が上がり、左(反時計回り)に回すと回転が下がります。

スロットルレバーを完全に戻した時打撃し続けたりエンジンが止まってしまう場合は再調整してください。

燃料調整スクリュ

燃料調整スクリュは出荷時に調整されています。通常は調整の必要はありませんが、運転条件の変化などにより燃料消費が増えたり加速が悪くなった場合は、いったん締め込んでから基準開度に戻してエンジンをかけ、許容範囲内でエンジンの調子が最も良くなる位置(アイドルリング時に打撃せず、かつエンジンの回転が安定すること。また、加速時もたつきのないに状態)にセットしてください。

低速ニードル

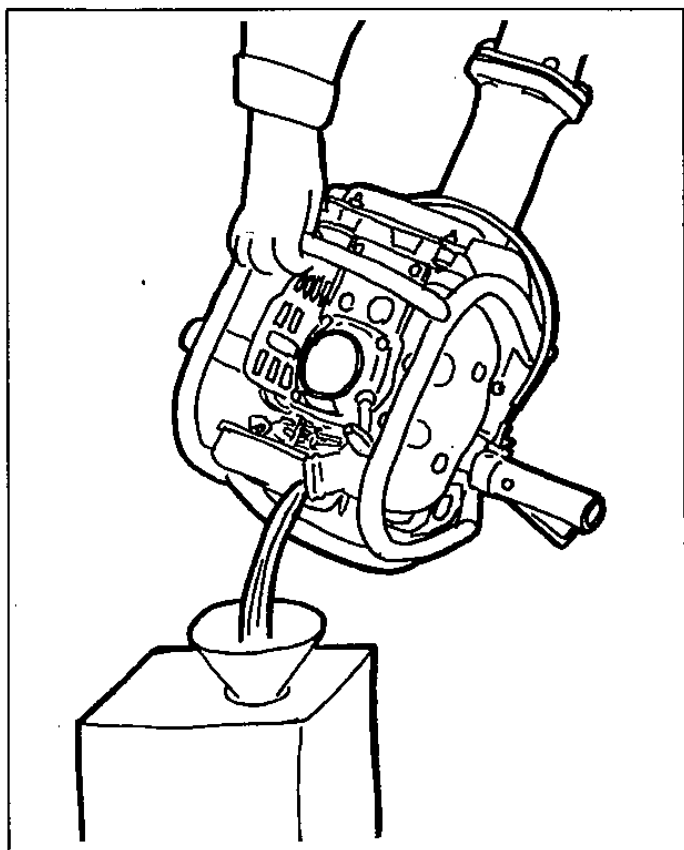
基準開度	1 回転戻し
許容範囲	±1/4 回転

高速ニードル

基準開度	1 回転 3/8 戻し
許容範囲	±1/4 回転

■ 長期保管時の手入れ

危険	引火による火災の恐れがあります。 ● 燃料抜き取り時は、火気を遠ざけてください。 ● 燃料をこぼさないように注意し、こぼれた燃料は完全にふき取ってください。 ● 燃料の保管容器のキャップはしっかり締めてください。
重要	● 長期間(2ヵ月以上)使用しない場合は、燃料タンクとキャブレタから燃料を抜いてください。燃料を入れたまま長期間放置すると燃料が変質してキャブレタ内部が詰まり、エンジン故障(始動不良や出力不足)の原因となります。 ● 保管時は、燃料タンクのキャップをゆるめにしてください。強く締め過ぎると経時変化によりパッキンが変形することがあります。



1. 機体の汚れを落としながら、各部の損傷やゆるみなどの有無を点検し、異常が発見された箇所は次の使用に備え完全に整備してください。
2. 燃料タンクから燃料を抜き取って下さい。
3. キャブレタの始動ポンプを燃料が出なくなるまで押して、配管通路内の燃料を燃料タンクに戻してください。
4. もう一度燃料タンクから燃料を抜き取って下さい。
5. エンジンを始動し、自然に止まるまで運転してください。
6. スパークプラグを取り外し、2サイクルオイルを1~2mL エンジン内に入れてください。スタータロープを2~3回引いてからプラグを元通り取り付け、圧縮位置で止めてください。
7. 金属部に防錆油を塗った後、チリやほこりのつかないようにして、湿気の少ない場所に保管してください。
8. 保管するときはエンジン部を上にして下さい。

重要 機体内に雨がかららるように、室内に保管するか、運搬する時でも必ずカバーをしてください。湿気や水分は故障の原因となります。

故障のときは

現 象	主 な 原 因	処 置
エンジンが始動しない	・ 燃料不良(異質、劣化)	・ 正しい燃料と交換(9頁)
	・ 燃料吸い込み過ぎ	・ リフトレバーを運転位置にしてからロープを繰り返し引く(13頁) ・ スパークプラグを取り外して電極を乾かす(19頁)
	・ マフラ排気口詰まり	・ マフラ交換(★)
	・ スパークプラグ電極汚損、短絡、断線	・ 電極清掃またはプラグ交換(19頁☆)
停止スイッチを操作してもエンジンが止まらない	・ エンジンスイッチ故障(接触不良)	・ スイッチ交換(★)
エンジンが加速しない	・ 燃料不良(異質、劣化)	・ 正しい燃料と交換(9頁)
	・ 燃料フィルタ目詰まり	・ 燃料フィルタ清掃または交換(20頁☆)
	・ キャブレタ燃料ニードル絞り過ぎ	・ 再調整(21頁)
	・ マフラ排気口詰まり	・ マフラ清掃(★)
スロットルを戻すとエンストする	・ アイドリング回転数が低過ぎる	・ 再調整(21頁)
燃費悪化	・ エアクリーナ目詰まり	・ エアクリーナ清掃(18頁)
	・ キャブレタ燃料ニードル開き過ぎ	・ 再調整(21頁)

- ・ 上記処置を講じても現象が改善しない場合や、上記以外の不調現象が生じた場合は、お買い上げ店にご相談ください。
- ・ ☆印のついている処置につきましては、お買い上げ店で純正部品をお求めください。
- ・ ★印のついている処置につきましては、お買い上げ店にご依頼ください。

 危 険	● 機械の改造や分解等はしないでください。運転時に機体が破損したり、燃料漏れや作動不良による不測の事故を招く恐れがあります。 ● 点検処置時はタバコなどの火気を遠ざけてください。 燃料に引火する恐れがあります。 ● 機体各部の締結部品(ボルト、ナット、ネジ類)は必ず純正品または指定品を使用してください。規格外品を使用すると、使用中に機体が破損したり部品が脱落したりして不測の事故を招く恐れがあります。
--	---

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社 国内営業本部



0570-084987

月～金/9:00～17:00(土日祝、弊社指定休業日は除く)

<http://www.zenoah.co.jp/>

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

本社: 〒350-1165 埼玉県川越市南台1-9